

株式会社ジェイコムウエスト
第三回（平成 27 年 5 月度） 放送番組審議会 議事概要

第三回の放送番組審議会は、平成 27 年 5 月 22 日（金）、株式会社ジェイコムウエスト本社において、6 名の委員が出席して開かれた。

会議では、審議会規定に基づき、会長及び副会長を委員の互選により選任。会長の進行のもと、『J:COM park』2 月 1 日放送号を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 出席委員

会 長	梶原 義秀	（門真地区保護司会 理事）
副会長	平井 宏	（箕面自由学園 理事長）
委 員	川村 輝夫	（いけだ市民文化振興財団 理事）
	木村 惇	（大阪経済法科大学 教授）
	富永 俊裕	（須磨 FRS ネット 幹事）
	長友 文子	（和歌山大学 教授）

■ 審議番組

J:COM チャンネル 毎週水曜日 午後 1 時～放送 他
『J:COM park』
平成 27 年 2 月 1 日 放送号

■ 審議番組についての主な発言

・民放でもよくあるタイプの街を散策する番組だが、今回の作品では紹介されるものが食べ物ばかりだったように思う。

・出演しているタレントが大変好感が持てて良かった。今回は商店街を散策していたが、事前の調査をしっかりとしていないと、商店街の中で評判の悪い店舗を紹介してしまう場合もあるので気を付けたほうが良い。

・他のエリアの視聴者が行ってみたいと思わせる工夫がもう少しあっても良かったと思う。今回は空堀商店街という場所だったが、誰もが知っているという訳ではないので、最初に紹介があった方が良かった。

・番組のキーワードに“新感覚”という表現が使われているが、どこが“新感覚”なのかわからなかった。

・番組の冒頭で、商店街の地図が描かれたチラシを見せて紹介していたが、チラシではなくイラストなどでビジュアル的にわかり易く表現した方が良かった。

・場面転換に出てくる番組タイトルは賑やかではあるが、ごちゃごちゃしていた感じがした。

・同じような番組が多いので、他の番組と比較して特徴をもっと持たせた方が良い。

・ハプニング感を持たせる演出との説明があったが、予定調和が崩れていなくてハプニング感があまり出ていない感じがした。

・場面転換の番組タイトルは全体の流れが止まってしまう気がする。

・タレントも嫌味がなくて、番組を大変面白く観ることが出来た。

・店頭で試食をする場面で、特別に試食させてもらっているというテロップが出るが、お金を出して買っているのに、テロップを出す必要があるのか疑問に思う。

・紹介された洋食のお店は是非行ってみたいと思ったが、空堀商店街がどこにあるのかがまずわからない。場所の紹介ももう少し工夫された方が良い。

・商店街を何回かに分けて紹介しているようだったが、次回予告なども入れて次も見たいと思わせることも必要。

これらの発言いただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、また今回は当社が昨年 12 月に放送した CS 番組『スペースシャワーTV』内で、当社の番組自主基準に抵触する光点滅にかかる映像手法が用いられたことが判明し、放送法に抵触するものとして、総務省より行政指導を受けた件をご報告し、番組審議会を終了した。

以上